第8章｜目標指標と進行管理

1. 目標指標

本計画が実効性を持って適切に運用されているかを継続して確認するために，本計画による効果を表す目標指標を，「施設誘導」，「居住誘導」，「公共交通」，「防災」，「財政」の5つの視点から設定します。

(1) 施設誘導に係る目標指標

都市機能誘導区域に位置づけている誘導施設の維持・充実を図ることを目標に，以下の目標指標を設定します。

目標指標	基準値 (2025年)	目標値 (2040年)
都市機能誘導区域（三日町八日町・内湾地区）の誘導施設数	9施設	維持・充実
都市機能誘導区域(田中前周辺地区)の誘導施設数	6施設	維持・充実

【基準値対象施設】
三日町八日町・内湾地区・・・(医)猪苗代医院，(子)気仙沼児童センター，気仙沼学童保育センター，(教)気仙沼小学校，気仙沼中学校，(社)気仙沼図書館,気仙沼市民会館，(商)生鮮館やまひろ，セブンイレブン気仙沼南町店
田中前周辺地区・・・(行)宮城県気仙沼合同庁舎，(医)気仙沼市立病院，(商)ローソン気仙沼田谷店・気仙沼バイパス店・気仙沼市立病院店，ファミリーマート気仙沼田中前三丁目店

(2) 居住誘導に係る目標指標

居住誘導区域内でも特に人口集中地区(DID)の人口密度を向上させ，現状の市街地規模を維持することを目標に，以下の目標指標を設定します。

目標指標	基準値 (2020年)	目標値 (2040年)
人口集中地区(DID)の人口密度	35.9 人/ha	維持・充実
人口集中地区(DID)の面積	161.5ha	維　持

（3）公共交通に係る目標指標

居住誘導区域における公共交通を利用しやすい暮らしの実現を目標に，以下の目標指標を設定します。

目標指標	基準値 （2024年）	目標値 （2040年）
居住誘導区域内の公共交通充足率	81.8%	維持・充実

※気仙沼市総合交通計画における公共交通空白地域の定義に基づき算出（BRT駅500m以内，またはバス停から300m以内の区域）

（4）防災に係る目標指標

災害リスクが高い区域での居住抑制を目標に，以下の目標指標を設定します。

目標指標	基準値 （2019～2024 年度）	目標値 （2040年）
家屋倒壊等氾濫想定区域（都市計画区域内）における建築行為の届出件数	2.3 件/年	0 件

※ 対象河川における 2019～2024 年度の平均件数（対象河川：大川・鹿折川・神山川・八瀬川・松川・面瀬川）

（5）財政に係る目標指標

居住誘導区域を中心とした利便性の高い市街地への居住誘導による持続可能なまちづくりの実現を目標に，以下の目標指標を設定します。

目標指標	基準値 （2025-2020 年）	目標値 （2040年）
用途地域指定区域内の地価の変化率	-11.1%	改　善

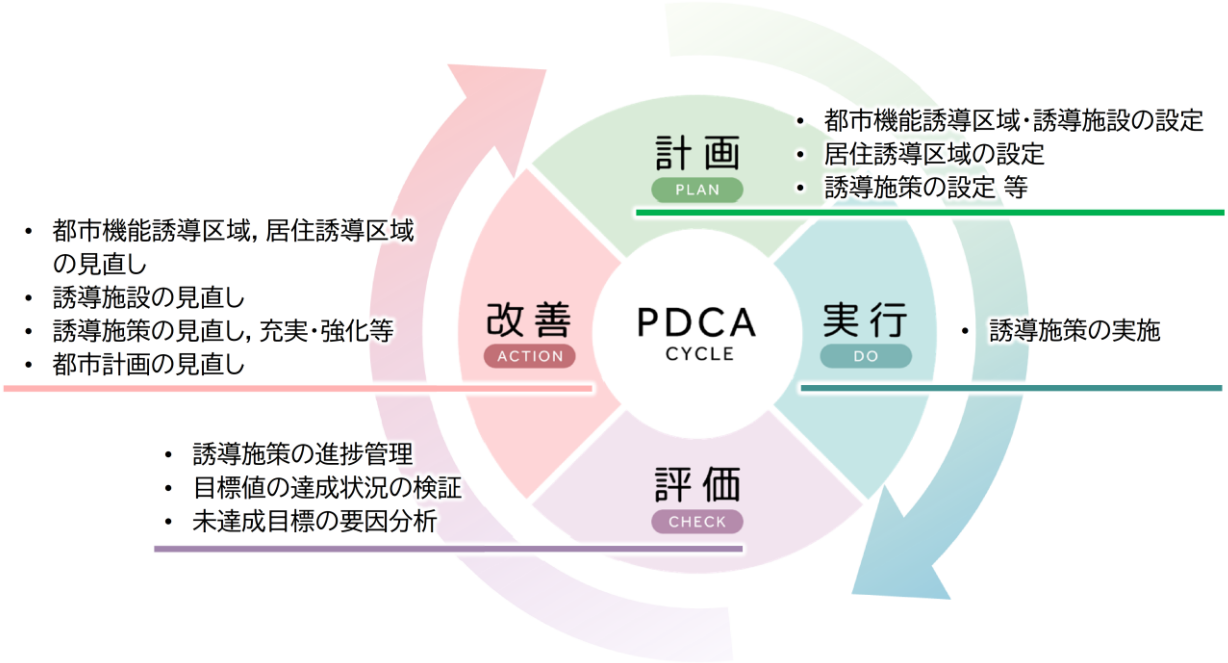
※ 2025 年公示地価で 2020 年と比較可能な箇所の変化率の平均

【基準地点】
気仙沼市南郷11番17／気仙沼市松崎萱102番23／気仙沼市東新城1丁目5番4／気仙沼市上田中1丁目6番3／気仙沼市魚町2丁目411番

2. 計画の進行管理

立地適正化計画は，概ね5年ごとに施策の進捗状況について調査，分析及び評価を行い，見直しを行うことが望ましいとされています。

本計画においても，PDCAサイクルに基づいて概ね5年ごとに計画に記載された施策・事業の実施状況の調査・分析及び評価を行い，計画の進捗状況や妥当性等を検証します。

目標指標の達成状況や人口動態等について定量的に評価するとともに，その結果を踏まえ，誘導区域や誘導施設，誘導施策の見直し，充実・強化等を実施し，計画の更なる改善に取り組みます。

■ PDCAサイクルのイメージ